

WES 7105 : 2012

# WES

## 硬化肉盛被覆アーク溶接作業標準

Recommended hardfacing practice  
with shielded metal arc welding

WES 7105 : 2012

平成 24 年 10 月 1 日 改正

社団法人 日本溶接協会

The Japan Welding Engineering Society

**WES 7105 (硬化肉盛被覆アーク溶接作業標準)**

**原案作成委員会 構成表**

	氏 名	所 属
委員 長	西 本 和 俊	福井工業大学
幹 事 長	川 嶋 巖	独立行政法人 産業技術総合研究所
幹 事	古 賀 信 次	川崎重工業株式会社
幹 事	篠 崎 賢 二	広島大学
幹 事	水 田 俊 彦	日鐵住金溶接工業株式会社
委 員	大 重 広 明	津山工業高等専門学校
委 員	勝 村 宗 英	独立行政法人 産業技術総合研究所
委 員	才 田 一 幸	大阪大学
委 員	山 岡 弘 人	株式会社 I H I
委 員	葛 西 省 五	株式会社クロセ
委 員	池 田 哲 直	株式会社神戸製鋼所
委 員	井 上 裕 滋	新日本製鐵株式会社
委 員	小 川 和 博	住友金属工業株式会社
委 員	岡 崎 司	株式会社タセト
委 員	伊 藤 正	日本ウエルディング・ロッド
委 員	王 昆	日本冶金工業株式会社
事 務 局	日 暮 宏 彰	社団法人日本溶接協会

協会規格を他書へ転載する場合のご注意

本規格の内容の一部又は全部を他書に転載する場合には、当協会の許諾を得るか、又は本規格からの転載であることを明示してください。このような処置がとられないと、著作権及び出版権の侵害となります。

---

制定年月日 : 平成 3 年 5 月 1 日

改正年月日 : 平成 24 年 10 月 1 日

原案作成委員会 : 社団法人日本溶接協会 特殊材料溶接研究委員会 (委員長 : 西本 和俊)

審議委員会 : 社団法人日本溶接協会 規格委員会 (委員長 : 小俣 和夫)

この規格についてのご意見又はご質問は、社団法人日本溶接協会業務部 (〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 4-20) にご連絡ください。

## 日本溶接協会規格

## 硬化肉盛被覆アーク溶接作業標準

## Recommended hardfacing practice with shielded metal arc welding

1. **適用範囲** この規格は、炭素鋼，低合金鋼，ステンレス鋼などに，主として鉄系の各種硬化肉盛用被覆アーク溶接棒を用いて肉盛溶接する場合の作業のよりどころについて規定する。
2. **用語の定義** この規格で用いる用語及び定義は JIZ Z 3001-1 及び JIS Z 3001-2 による。
3. **溶接棒** 使用する溶接棒は，表 1 及び表 2 に示す JIS Z 3251 に規定されているもののうち鉄系の溶接棒，又はこれに類似するものとする。

表 1 溶接棒の種類

溶接棒の種類	被覆剤の系統	溶接姿勢
DF2A	B R BR	F・V・H
DF2B	B R BR	F
DF3B	B	F・V・H
DF3C	B	F
DF4A	B	F
DF4B	B	F
DF5A	B BR	F
DF5B	B BR	F
DFMA	B	F
DFMB	B	F
DFME	B	F
DFCrA	B R BR	F
DFWA	S	F

**注記 1.** 被覆剤の系統に用いた記号は，次のことを意味する。

B：塩基性，R：高酸化チタン，BR：ライムチタニヤ，  
S：特殊

**注記 2.** 溶接姿勢に用いた記号は，次のことを意味する。

F：下向，V：立向，H：横向

表中に示す溶接姿勢 V 及び H は，棒径 5mm 以下のものに適用する。